

# 第1回奈良県アスベスト被害実態調査委員会議事録

開催日時：平成22年7月12日（月）午前9時30分～11時20分

会議開催場所：奈良県婦人会館 2階 中会議室（特）

出席者：内山委員（会長）、車谷委員（副会長）、上田委員、高柳委員、山本（直）委員、片岡委員、西本委員、山本（俊）委員、武末委員、宮谷委員

## 1. 会 議 議 題

- 1) 会長選任・副会長指名について
- 2) 委員会の公開について
- 3) 奈良県におけるアスベスト関連疾患発症実態調査方針等について

## 2. 決 定 事 項

- 1) 内山委員が会長に選任され、車谷委員が副会長に指名された。
- 2) 委員会は個人情報の取扱時には非公開、それ以外は公開。
- 3) 企業周辺住民の石綿関連疾患発症の今後の可能性を検討するために、従業員調査を実施。
- 4) 既存の県調査（リスク調査）等のデータも詳細に分析し共有すること。
- 5) 関係企業（県下2社）に委員会への参加、協力を求めること。

## 3. 意 見 等

### ●現在実施しているリスク調査に関するもの

- リスク調査におけるばく露者のプロット地図を委員内で共有すべき。
- リスク調査の詳細な分析と第2期リスク調査・中皮腫死亡調査への協力者を増やすことが重要。

### ●今後の実施調査に関する意見交換

[調査に関する補足説明]

- 関係企業周辺住民の石綿関連発症の今後の可能性を検討するために、企業内労働者の石綿関連疾患発症のリスク調査を提案する。
- 発症リスクは、石綿の種類・量・職場内対策によって異なり、それにより調査開始時期も変わってくる。
- 調査対象は、正規・非正規社員を含む全ての部署の従業員。調査結果の信頼性を確保するためには、退職者を含む全従業員の少なくとも80%以上の名簿が必要。
- 結果は公表だが、会社の名誉については十分配慮する必要がある。

○死亡リスク評価には、死因別のSMR（標準化死亡比）を用いる。

[意見]

○名簿に関しては、企業における社会保険の資料や、クボタ周辺住民中皮腫発覚を契機として検診案内で名簿を作成していると思われるので、相談してはどうか。

○調査開始時点は、企業の石綿の使用状況（種類・量）を念頭に置くべき。

○地元住民への実態調査はどう進めるのかも課題。

←まずは従業員調査をすすめることが必要と認識。

○従業員の罹患状況もポイントになるのではないか。例えば、死亡していなくても、石綿健康管理手帳を貰った人がいれば、石綿の管理が充分でないということになる。

反対にほぼ0に近ければ、相当安全ということになる。

←今の時点では罹患状況を調査するかは決められない。アンケートで罹患状況も確認する方法もあるが、確認する手立てが必要となるので、今のところは考えていない。

#### **4. その他**

○今回の調査は企業責任を迫及するものではない。企業の意見も充分聞くべきであるので、委員会への参加を再度お願いすること。

○平成22年度内には、少なくとも中間的な報告を行うこと。

#### **5. 次回会議開催予定**

再度企業へ委員としての参加依頼を行い、従業員名簿作成への協力をお願いした後、早急に開催すること。